

令和7年度宮城県地域医療構想推進支援事業について

【事業の概要】

医療機関が抱える地域医療の課題や経営上の観点などを踏まえて、当該医療機関が担うべき役割や機能を見直し、将来的にも持続可能な病床機能の再編プランなどを提示することで、自院の方向性を検討する医療機関を支援します。

【対象者】

県内病院の管理者

※病院単位のほか、病院事業、病院群での応募も可能

※構想区域内の複数病院による応募に対しては、各病院の役割分担、機能分化の方向性等を整理し、病院間連携を進めていくためのプランを提示します。

【主な支援内容】

県が事業を委託する医療コンサルタントによる、「病床機能再編プラン」と当プランを実施した場合の「経営に関するシミュレーション」を提示します。

【費用負担】

なし

＜御相談のイメージ例＞

- ◇ 患者層や人員資源等の現状分析等をとおして、経営改善点等の提案を受けたい
- ◇ ダウンサイジングや病床機能の再編に関心があるが、最適で実現性の高いプランを知りたい
- ◇ 病院間連携を進めるに当たり、各病院が担う機能を整理し、今後の取組の参考にしたい 等

令和7年度宮城県地域医療構想推進支援事業について

【事業スケジュール（予定）】

- ・ 令和7年8月8日（金）・・・募集期限
- ・ 令和7年8月中旬頃・・・支援対象医療機関選定
- ・ 令和7年8月下旬～12月上旬・・・支援実施

【R6年度支援実績】

4 病院

【備考】

- ・ 病床機能再編プランやシミュレーション結果は、今後の病院経営における選択肢として提示させていただくものであり、進め方を強制するものではありません。
- ・ 地域医療構想の趣旨に沿った提案が前提となります。
- ・ 支援に当たって、財務諸表、決算統計、病院統計等の資料を提供いただく必要があります。

令和7年度宮城県地域医療構想推進支援事業について

【コンサルティングの進め方】

個別病院の支援概要	
個別の病院の支援の流れ ① 対象病院からのデータお預かり ② 外部/内部環境分析により、地域課題・経営課題の可視化を行うとともに、現場ヒアリングにより実態を把握。 ③ 実現性の高い再編プラン及び収支シミュレーションを策定し、報告を実施する。	
概要	詳細
支援目的	地域のニーズや課題に対して、対象病院として担うべき役割・機能を改めて見直すとともに、病院の実態を把握することにより経営の効率化も可能な再編プラン及び収支シミュレーションの策定を行うこと。
分析の視点	① 地域課題を明確化し、対象病院が担うべき役割を再検討 ② 経営の課題を可視化、改善策を立案 ③ 将来的にも持続可能な機能再編を検討
使用データ	・公開データ ・個別病院のDPCデータ 及び 診療実績/ 人員数データ/ 図面 等
メリット	・ 県 ：対象病院の役割の明確化により、地域医療の推進が可能となる。 ・ 地域 ：地域課題解消に向けた対象病院の在り方が再検討され、地域医療の促進に繋がる。 ・ 病院 ：地域における対象病院としての役割が明確化するだけでなく、経営の効率化に向けた課題の解消策の提案を受けることができる。

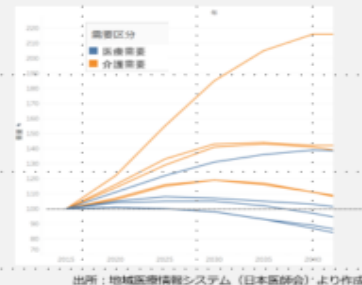
令和7年度宮城県地域医療構想推進支援事業について

【アウトプットサンプル①】

1. 外部環境の概況

人口動態と医療需要の推移

地域需要をまとめる。



医療提供体制と当院の役割

> 医療提供体制

現状の医療提供体制を整理。

> 当院の役割

現状の役割を整理。

今後の役割：当院の役割および今後の方向

将来的な役割の展望を整理。

政策動向

政策動向などへの適応状況を確認し、今後の役割や取り組みとの整合性を整理。

■2019年病床機能報告結果と2025年機能別必要病床数

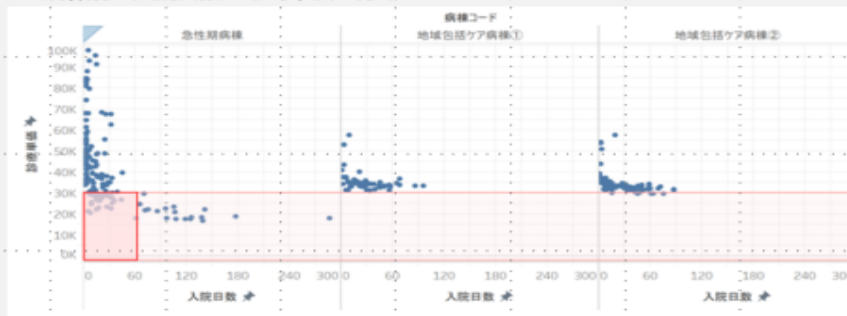
	2019年	2025年 必要病床数	2019年 -2025年
高度急性期			
急性期			
回復期			
慢性期			
合計			
休養			
在宅医療等			

2. 内部環境の現状

患者層の把握

経営改善箇所を洗い出すため、収益改善のポテンシャルを分析し、役割遂行と収益性の整合を確認。

■病棟別の入院日数と平均単価の分布



3. 現在の財務状況

現在の役割遂行とガバナンス（マネジメント）の結果として財務状況を確認。
特に、損益の構造や特徴について経年推移と統計値比較により概要を整理。

令和7年度宮城県地域医療構想推進支援事業について

【アウトプットサンプル②】

4. 現状における課題とその改善点

マネジメント、組織体制、建物などに関する現状の課題や将来の取り組みへの障壁を整理。

- ・なぜ解決が必要か（解決期間）
- ・解決方法はどのようなものか

5. 課題の改善策及び環境要因に適応する病棟構成

上記記載の解決後の姿を記載。
改めて、解決後の姿が外部環境に適応するものであること、経営効率を高めること等、各論点に合致していることを抑える。

6. 改善施策・病棟再編を加味した今後の収支計画

実施後の収支予測を行い、

① 成り行き（何もしない場合）

② 改善活動を行う場合

で比較を行う。

今すべきこと、あるいは、目標とする収支とそれを実現するために必要なことを組織で共有する。

7. 総括

地域の状況、当院の役割、今後行うべきこと、実行した時の姿、実行時の注意点についての総括。

令和7年度宮城県地域医療構想推進支援事業について

【コンサルティング支援スケジュール】

STEP1 データ預かり (内務処理)	<u>個別病院より預かる主なデータ</u> 財務データ : 決算書、借入金明細、減価償却予定、投資予定等 診療データ : 主にDPCデータ（弊社分析システムを利用） 人員配置データ : 看護師勤務表、職種別常勤換算職員数諸室や廊下幅のわかる図面
STEP2 経営者面談と院内ラウンド (訪問)	<u>主なヒアリング内容</u> ・想定している病院の方向性 ・事前にお預かりしたデータや公開データに基づく意見交換 ・人員配置および勤務実態（病棟別夜勤看護師、医師配置状況等） ・大きな変動のある入退職予定 ・大規模投資予定等 ・図面では把握しづらい構造上の留意点の確認
STEP3 経営分析と再編プラン案作成 (内務処理 + WEB面談)	<u>主な作業内容</u> ・マーケット分析/経営分析による経営課題の整理 ・再編プランの素案に関する整理（中間報告前に病院事務局と意見交換実施の可能性あり）
STEP4 再編プラン案について幹部ヒアリング（訪問orWEB面談）	<u>中間報告</u> ・再編プランの素案を幹部へ説明 ・想定する再編プランの留意点について意見交換
STEP5 収支計画の作成 (内務処理 + WEB面談)	<u>主な作業内容</u> ・2040年までの概算の財務3票を作成。 （財務担当者へ確認依頼等で意見交換実施の可能性あり）
STEP6 最終報告	<u>最終プランの報告</u>

以降、参考資料

実現可能性の高い再編プランを作成するポイント

- ✓ 病棟再編において、患者ニーズ・人員資源・建物の3つの要素を満たす必要があります。それぞれの要素について分析を行い、実現性の高い病棟編成を検討します。
- ✓ 施設基準を精査した上で、経済効果を算出し、実現可能な再編案をご提案いたします。

患者ニーズ

地域の医療ニーズに適合した機能が
現状の患者層に適した機能が

病棟を再編するため、
3つの要素のバランスの考慮が必要

⇒各要素について分析を実施

人員資源

人員資源を最大限に
活用できる病棟構成か

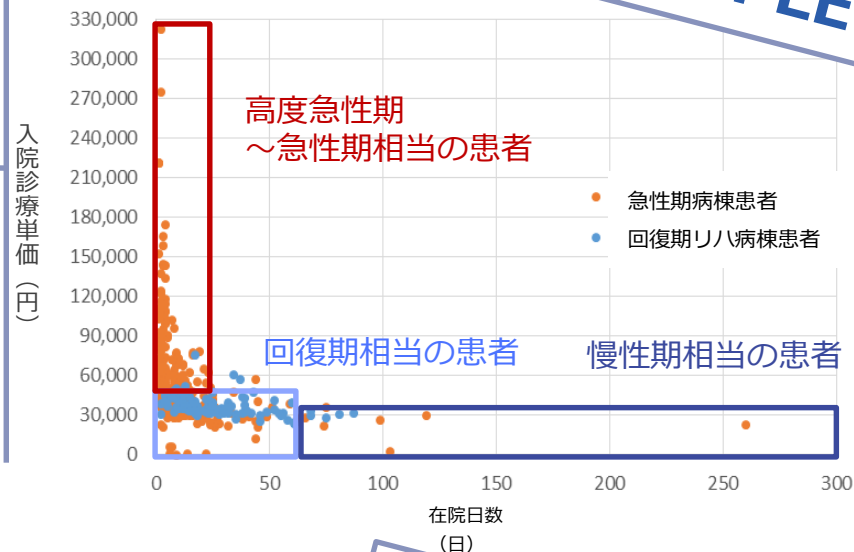
建物

現状の建物のまま
機能の転換が可能か

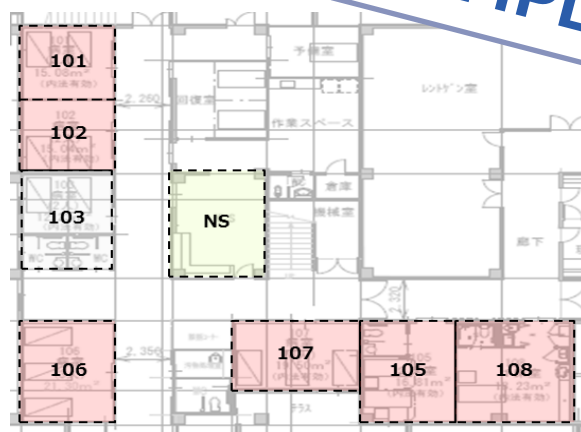
■看護配置SIM

	一般病棟		地域ケア病棟		
	急性期 4		地域包括ケア 1		
	看護職員 (10対1)	+急性期 看護補助 体制加算 (25対1)	看護職員 (13対1)	+看護職員 配置加算 (50対1)	+看護職員 配置加算 (25対1)
必要時間 (時間/月)	2,160	960	2,160	720	1,200
実績 (時間/月)	3,569	733	3,869		
余剰時間数	1,409	1,182	1,709	989.3	
余剰人数 (余剰時間/160時間)	8.8	7.4	10.7	6.2	
余剰率	165%	138%	179%	134%	

■患者層分析



■建物の要件の確認



室	1床当たりの面積 (㎡)
101	7.54
102	7.52
103	6.12
105	8.41
106	7.10
107	6.50
108	18.23
合計	6.51
合計 (108を除く)	6.22

回復期機能（主に地域包括ケア病棟・病床）の導入検討で、議論が錯綜する5つの主たる要因

